



こども感染症情報

16.11.2
週報第 612 号

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第43週(10/24~10/30) (42週)	
	発生数(人)	前週との比較
インフルエンザ	10 (0)	↗
RSウイルス感染症	22 (14)	↗
感染性胃腸炎	9 (19)	↘
溶連菌咽頭炎	15 (8)	↗
百日咳	0 (0)	→
水痘	1 (1)	→
手足口病	2 (1)	↗
ヘルパンギーナ	2 (4)	↘
突発性発疹	1 (2)	↘

(参考) 秋田県の状況 第42週(10/17~10/23)
<全県の発生状況>
1位:RSウイルス感染症 (全県で前週より12%増加)
2位:感染性胃腸炎 (全県で前週より68%増加)
3位:溶連菌咽頭炎 (全県で前週より20%減少)
4位:ヘルパンギーナ
5位:インフルエンザ
県内 警報・注意報 なし

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による

※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

横手地域・学校欠席者情報(11/1)

インフルエンザ

県内では、例年より早く集団発生の報告がでていますが、横手市内の学校や施設からも集団発生報告が届いています。家庭と連絡を密に対策をとっていきましょう。

● インフルエンザの予防接種 ●

重症化を防止する効果があると報告されています。
ワクチン接種による効果が現れるまで約2週間程かかりますので、12月中旬までに接種を終えることが勧められています。
接種については、かかりつけ医に相談しましょう。



RSウイルス感染症 と **マイコプラズマ肺炎** の報告件数も多くなっています。RSウイルス感染症については、横手市内保育園から集団発生報告が1件ありました。

疾患名	インフルエンザ	感染性胃腸炎	マイコプラズマ	水痘	流行性耳下腺炎	溶連菌咽頭炎	手足口病	その他
施設(数)								
保育所・園(35)	1			3		6		16
小学校(22)	7			2		6		
中学校(8)			1					
高校(7)						2		
特別支援学校								

感染症情報収集システムより(人)